

平成27年 校内研究通信



研究主題：「心豊かに感じ合い、学び合う児童の育成
～人とのつながりを大切にする活動を通して～」

市谷の学び

第1号

平成27年5月13日
新宿区立市谷小学校
校長 勝沼 康夫
研究推進委員会
研究主任 藤本 道生

校内研究通信 第1号

新緑の候となりました。保護者の皆様には、日頃より、本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、本校では校内研究の一端を保護者の皆様にお知らせするために、校内研究通信を発行しております。校内研究とは、各校で定めた研究主題の実現を目指し、教員が一丸となって授業実践を通して取り組んでいくものです。日頃の授業だけでなく、全教員が一つの授業を参観した後、その授業の良かった点やさらに良くする方法を協議し、外部から招いた講師から指導・助言をいただく研究授業を、1年間を通して各学年1回ずつ設定しています。

この校内研究通信は、各学年の研究授業の後などに配布されますので、ご一読いただき、本校の教育活動へのご理解、ご協力を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第1号では、今年度の校内研究の概要についてお知らせしたいと思います。

今年度の校内研究について

昨年度までの2年間、本校は東京都の指定を受けて人権尊重教育推進校として教育活動に取り組み、昨年12月には研究発表を行い、多くの学校関係者に参観していただくことができました。また、保護者の皆様のご理解、ご協力に大変感謝しております。

今年度は、昨年度までの人権尊重教育の取り組みをしっかりと引き継ぎ、本校の教育活動の基盤として定着していくこととしました。その上で、今年度の校内研究の内容を吟味し、研究主題を次のように設定しました。

研究主題

「心豊かに感じ合い、学び合う児童の育成
～人とのつながりを大切にする活動を通して～」

研究主題設定の理由

・心豊かに「感じ合う」、「学び合う」

昨今、科学技術の著しい進歩や取り巻く環境の変化により、現代の子供たちの課題として、直接体験の減少や人間関係の希薄さなどが挙げられることが多くなりました。その結果、五感を使って物事を感じ取って心を動かされたり、友達とときには衝突しつつも協力して物事を成し遂げ、感動を共有したりするなどの経験も減ってきています。大都市東京のど真ん中で生活する本校の児童においても、これらの課題は例外ではないと思います。

そこで、今年度の校内研究では、**生活科・総合的な学習の時間**を中心に、友達とともに直接体験する活動や他者と関わり合う活動「**人とのつながりを大切にする活動**」を多く、かつ適切な場面で設定します。その中で心を動かして物事を感じ、友達と共有することができる「**感じ合う**」児童、感じ合うことで伝えたい、もっと学びたいと意欲を高め、表現活動や話し合いなどの言語活動を用いて友達と学びを深め、広げ、高めることができる「**学び合う**」児童の育成を目指していくこととしました。

研究の主な内容

上記の研究主題の実現に向けて、学習の中で体験したことを「**振り返る場面**」に重点をおいて取り組んでいきたいと思います。自分が体験して感じたことや考えたことを振り返って次の学習に生かす、友達と相互に評価し合うなど、様々な授業展開で取り組んだことを、この通信でお知らせしていきたいと思います。

* 次回研究授業の予定：5月20日（水）5校時
2年2組 上田学級